

風

かぜ カゼ

2002.2-18発行No.42

◇領解文(リョウゲモン)について

法要・法座のおわりに参詣者一同で領解文を出音することを通して、自分の信心を問い確かめ、法縁に遇った慶びを共有しあう法要作法は浄土真宗だけが持つ独自の法要・法座形式といえると思います。ご存知のように宗教は「私」が常に問われる存在で成り立ちます。法に遇って私がどのように領解したかが大切なのです。私が持つべき心根を蓮如上人が私に代わって400年前からお示しいただいたのが領解文なのです。私の安心(アンジン)の確かめと信仰の心構えを述べられているものです。味読ください。

◇ロビーで気軽にコミック本の閲覧を

玄関先のロビーに、ひろさちや氏監修の仏教コミック本42冊を集めてみました。まんがは低俗というイメージが過去にはありましたが、今は新しい情報メディアとして市民権を確保してきました。内容もより専門的な分野まで拓かれています。真宗書の入門書としての評価は高いと思われます。尚、このコーナーには小泉マガジン(創刊号より)も置いてあります。

併せて散見ください。

◇今月の安楽寺伝道掲示板

口がとがってしまうと
耳が粗末になる
口より耳が
大切なのだ



〒105-0014

東京都港区芝1-12-18 安楽寺 03-3451-1509